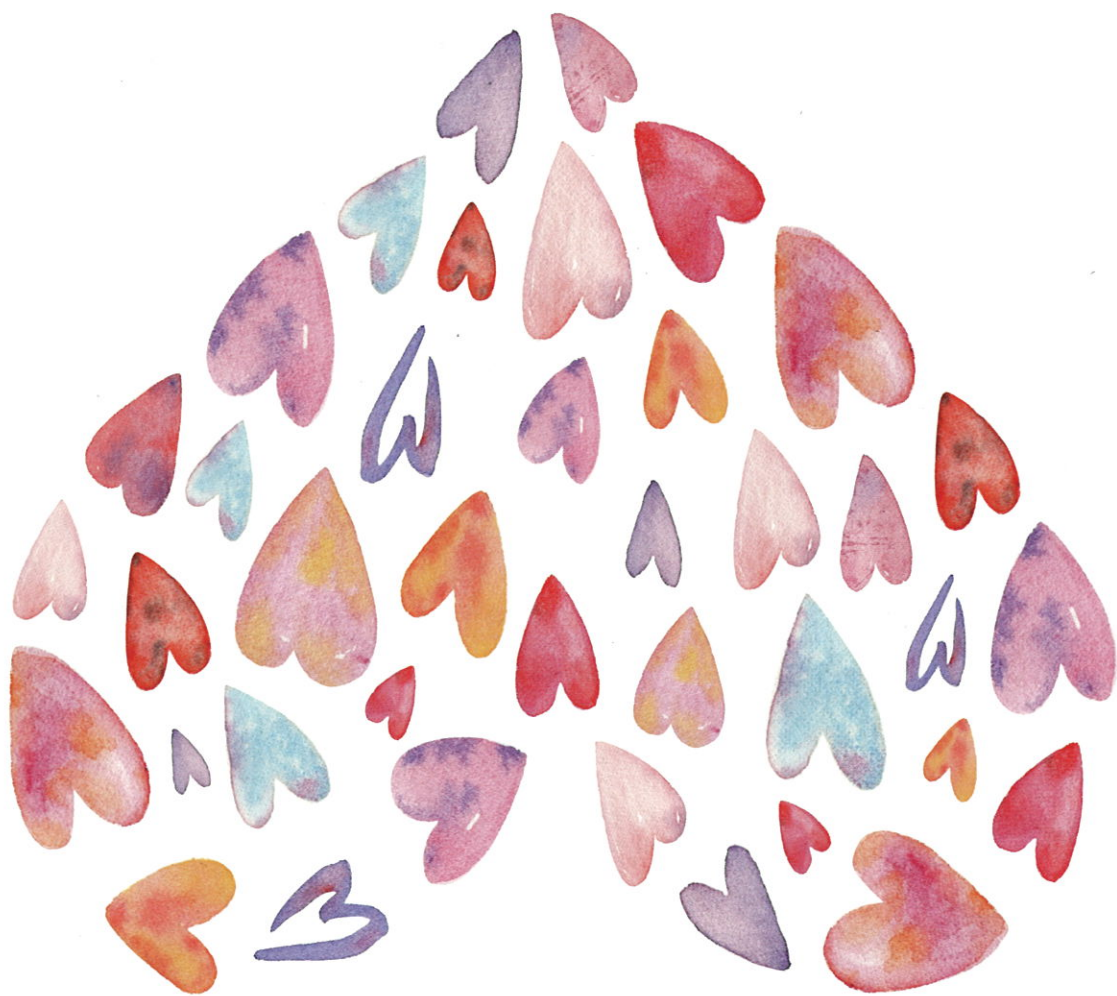


あざれあ便り

NO.44

TAKE FREE ご自由にお持ち帰りください

特集 新生くるめ病院！



社会医療法人社団 高野会

 病院

当院は、なおざりにされてきた肛門疾患を近代的治療法で、完全かつ安全に治療すること、また、増加の一途をたどる大腸疾患を高度の技術で診断・治療することを目的に、1987年当地に開設、1992年には日本大腸肛門病学会専門医修練施設として承認されました。2004年には病院名称を「くるめ病院」に変更、①肛門疾患 ②大腸がん ③内視鏡診断、治療 ④炎症性腸疾患 ⑤大腸肛門機能障害 の5本の柱に大腸がん検診などの予防医学を加えた業務を行って参りました。今後もくるめ病院は、大腸と肛門の専門病院として、できる限り質の高い医療をみなさまに提供する努力を続けて参りたいと思います。

くるめ病院の歴史

- 1987年 1月
開設
- 1992年 11月
日本大腸肛門病学会認定医修練施設として認定
- 2004年 3月
大腸内視鏡検査 約100,000件に達する
- 2004年 4月
病院名を「くるめ病院」へ変更
- 2006年 3月
女性外来開始(女性専門相談所より変更)
- 2009年 7月
排泄リハビリテーションセンター 設置
- 2011年 3月
肛門疾患症例数 約100,000件に達する
- 2012年 3月
へき地医療拠点病院指定
- 2014年 4月
社会医療法人取得
- 2021年 3月
大腸癌症例数 約4,500件に達する

学会認定施設一覧

- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- 日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定施設
- 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会ストーマ認定施設

資格一覧

- 日本大腸肛門病学会 指導医・専門医
- 日本消化器内視鏡学会 指導医・専門医
- 日本消化器外科学会 指導医・専門医
- 日本外科学会 指導医・専門医
- 日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡技師
- がん化学療法看護認定看護師
- 皮膚・排泄ケア認定看護師(WOCN)
- 下部消化管専門技師
- 排泄ケア専門員 3級(コンチネンスリーダー)
- 終末期ケア専門士
- 介護支援専門員(ケアマネジャー)
- 社会福祉士
- 診療情報管理士



院長就任にあたって

このたび高野会くるめ病院の院長に就任することになりました。

くるめ病院は大腸肛門の専門病院で、肛門疾患をはじめとして、大腸がん診療、大腸ポリープの内視鏡診断と治療、炎症性腸疾患の診断と治療、便秘や便失禁、機能性下痢症などの大腸肛門機能障害の診断と治療を行っております。わたくしもくるめ病院に着任以来約20年にわたって現高野会会長の高野正博先生、前院長の荒木靖三先生の指導の下、大腸肛門疾患を専門として診療と臨床研究に従事してまいりました。この経験を活かし今後もこの分野の発展に貢献したいと考えております。

ただこのコロナ禍のなか、専門分野にあぐらをかいて新型コロナ肺炎は知らないというわけにはいきません。現在新型コロナ肺炎後の高齢者を中心とした後方支援を行うとともに、院内でのワクチン接種引き受けや、大規模ワクチン接種会場への医師派遣などを行っています。また、院内感染予防のため職員教育と新たな情報の積極的取入れなども行っております。

今後も地域医療、専門分野の知識、技術の向上に努め、地域や全国の大腸肛門疾患で悩んでいる方々の役に立てるよう尽力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

職 歴

1989年	久留米大学医学部第一外科学講座	入局
1990年	国立東京第二病院外科	研修医
1991年	社会保険田川病院外科	出向
1992年	宮崎県立日南病院外科	出向
1995年	福岡県立朝倉病院外科	医長
1998年	済生会日田病院外科	医長
2001年	日高病院	診療部長
2005年	くるめ病院	副院長
2021年	くるめ病院	院長

所属学会

日本大腸肛門病学会 専門医・指導医・評議員
日本大腸肛門病学会九州地方会 評議員
日本消化器外科学会 専門医・指導医
日本外科学会 専門医・指導医
日本内視鏡外科学会 技術認定医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会九州支部 評議員
インфекションコントロールドクター
大腸肛門機能障害研究会 世話人
大腸肛門病懇談会 世話人
九州大腸肛門病懇談会 世話人
骨盤外科機能温存研究会 世話人
日本消化管学会 ガイドライン小部会委員（便通異常）



院長 野明 俊裕

大腸がん

手術・化学療法
・緩和ケア

粘膜内がん・粘膜下層への軽度浸潤がんでは、リンパ節転移の可能性がほとんどなく腫瘍が一括切除できる大きさと部位にあるものは内視鏡的切除の適応となりますが、早期がんでも内視鏡的切除の適応外となるものや進行がんに対しては手術が必要となります。現在では多臓器浸潤が顕著な症例や開腹手術歴などが原因で高度の癒着を認める症例を除き殆どの症例で腹腔鏡下手術が行われるのが一般的です。侵襲が低く出血も少なく身体への負担も軽度で傷が小さく美容的で術後イレウスなどの合併症の可能性も低くなります。術後に進行度を確定診断しStage IIIでは術後再発抑制を目的とした補助化学療法を6ヶ月間施行する必要があります。一方切除不能の進行再発大腸癌に対しては治療的化学療法の適応となります。またQOLの維持と向上を目的とした緩和ケアとしてがん性疼痛に対する薬物療法や腸管閉塞による経口摂取不能状態の改善や出血のコントロールを目的としたバイパス手術や人工肛門造設などが行われることがあります。当院では大腸癌治療ガイドラインに従って個々の患者に最適な治療法を提案させていただきます。

大腸がん検診

当院では、大腸がん撲滅・早期発見のため、年間通して大腸がん検診(便潜血検査)を実施しております。これまで近隣行政・企業に約34年間で、およそ43万人の方に大腸がん検診を受けていただきました。その結果、早期がん465名・進行がん251名、あわせて716名の大腸がんを発見することができました。また、大腸がん以外に大腸ポリープやその他の大腸・肛門疾患を発見し、治療に繋がってきました。

また、検診事業と合わせて、当院の患者支援センターが実施している市民公開講座や地域依頼講演会に参加し、大腸がん予防啓発活動を行っております。より多くの方に大腸がん検診を受けて頂き、早期発見早期治療に繋がるよう努めております。



くるめ病院大腸がん検診実績

受診者総数 428,069名 (1987～2020年:過去34年間)

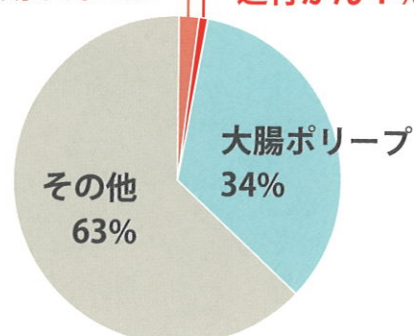
陽性者数 34,249名

◎精密検査結果	早期がん	465名
	進行がん	251名
	大腸ポリープ	8,999名

大腸がん
716名

早期がん 2%

進行がん 1%



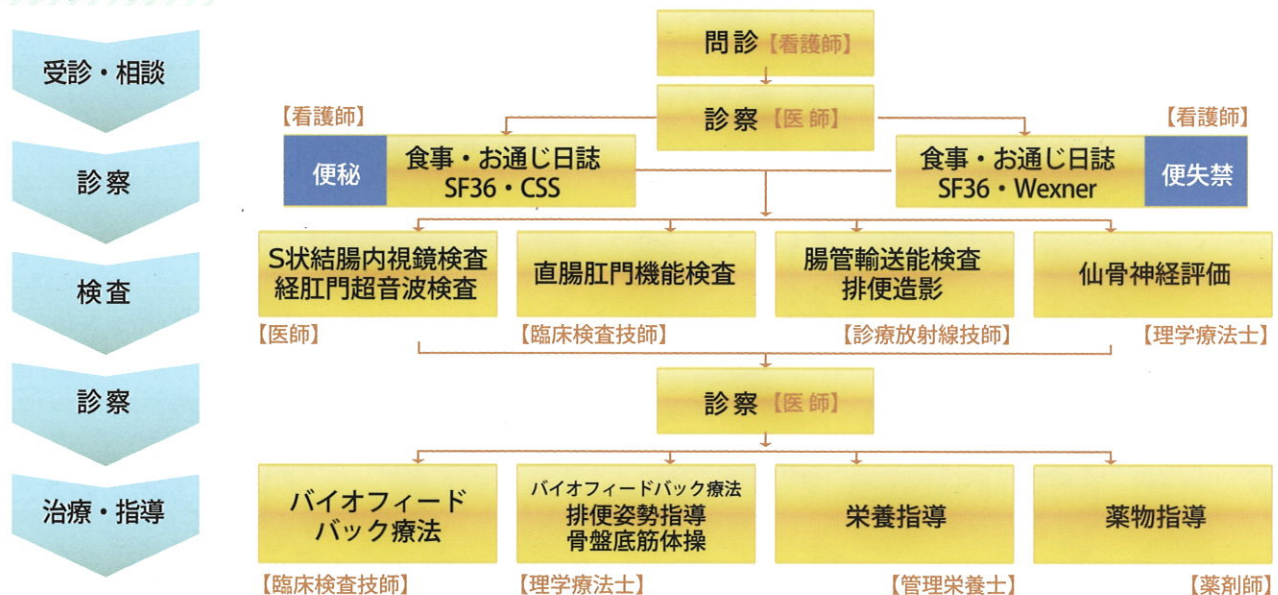
大腸肛門機能障害

様々なストレスの多い現代社会において、老若男女問わず便秘や便失禁などで人知れず悩む方は多くいます。排出すべき糞便を十分量かつ快適に排出できない事を便秘、無意識のうちまたは意思に反して便が漏れる事を便失禁と定義されます。

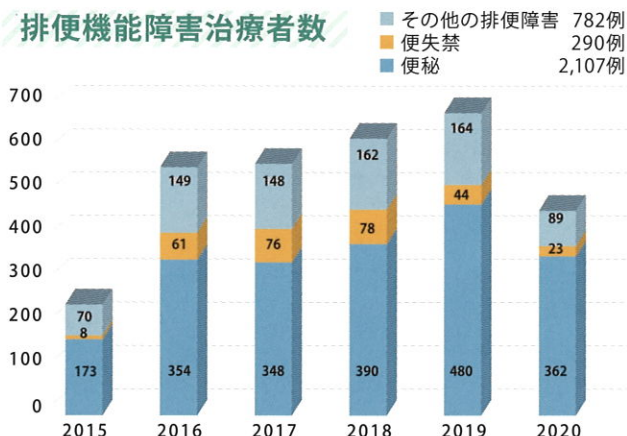


当院では全国でも珍しい排泄リハビリセンターとして診察から治療や手術、食事指導まで専門的に取り組んでおり、医師だけでなく多くの専門職スタッフが大腸肛門機能障害と向き合い治療回復に努めています。日々の食事や運動などの生活習慣から排便状況、検査結果の把握により原因を究明し、改善に向けた治療、食事指導、薬物療法、排便動作訓練やリハビリテーションなどその方にあったオーダーメイドの治療方針を提供します。同じ便秘や便失禁でも人によって原因が異なります。便秘は病気じゃないから””便漏れは恥ずかしいから”と一人で悩まずに相談してみませんか？一日も早い生活改善に向けてまず一歩踏み出しましょう。

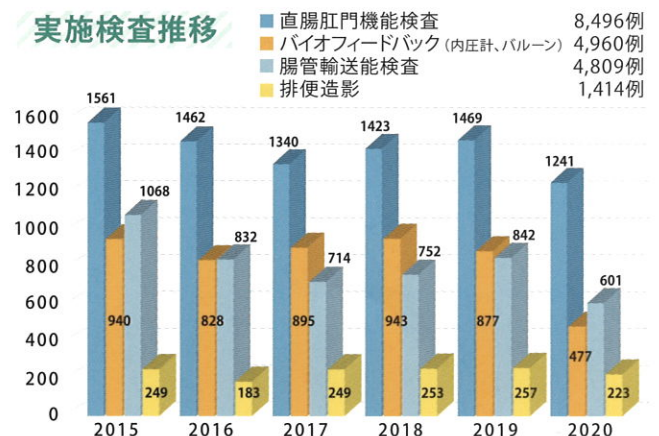
診察の流れ



排便機能障害治療者数



実施検査推移



内視鏡診断 ・治療

当院で行っている『内視鏡』とは主に消化管(食道、胃、小腸、大腸など)を直接見るためのもので、いわゆる『胃カメラ』や『大腸カメラ』と呼ばれます。皆さまがご存じの通り、日本人の死因のトップは「がん(癌)」であり、特に女性のがんによる死亡のうち最も多いのは大腸がんで、男性は胃がんが第2位です(2019年)。

このがんを早期に発見しかつ早期に治療できる検査として胃や大腸の内視鏡検査は非常に有用です。さらに最近は内視鏡機器が発達してきて、検査に伴う患者様の苦痛をより軽減し、かつ小さな病変も発見できるようになりました。



治療においては食道や胃、大腸にできたがんでも条件さえ整えば(深さが浅い、癌の性質がおとなしいタイプ、凹んだところがないなど)お腹を切らずにこの内視鏡で切除(治療)が可能です。

また施設によってはAI(人工知能)を用いて診断し、その有用性も報告されるようになり今後ますます発展していくものと思われます。皆さまも気軽に検査を受けてみてはいかがでしょうか？

肛門疾患

肛門疾患は三大肛門疾患と呼ばれる「痔核・痔瘻・裂肛」が約80%を占めます。

痔核

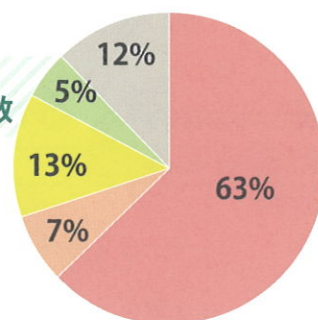
一般的に一番なじみがあり、いぼ痔と呼ばれます。便秘や下痢などによる過度のいきみや、長時間立ちっぱなしや座りっぱなしの姿勢を続けることで肛門の血行が悪くなり、血管の一部がうっ血してこぶ状になったもので、いぼのように見えるのでいぼ痔と呼ばれます。

2019年度 肛門科 診療数

男性:4,375名 女性:5,432名
合計:9,807名

2019年度 疾患別 新患者数

■ 痔核
■ 痔瘻
■ 裂肛
■ 直腸脱・
直腸粘膜脱
■ その他



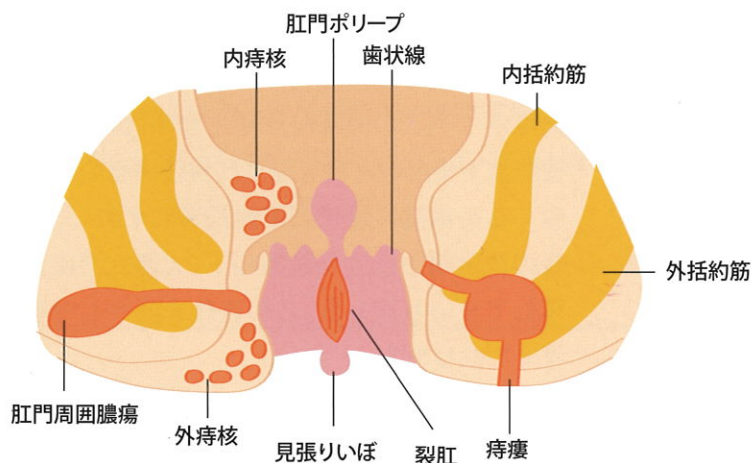
痔瘻

肛門の歯状線には、肛門陰窩と呼ばれる小さなくぼみが8~14個あり、そのくぼみの先に肛門腺があります。下痢などで便が水のような場合、便がこの肛門陰窩に入り込み肛門腺で感染し炎症を起こすことから痔瘻は始まります。そして肛門の周囲が炎症し、痔瘻の最初の段階である肛門周囲膿瘍をつくります。この状態が進行するとたまった膿が出口を求め、筋肉を貫いて隙間へ入り込み肛門の外へ出口をつくり、膿が排出されます。

裂肛

便を無理にいきんで排出する際に、肛門上皮が裂けたり切れたりすることで、切れ痔と呼ばれます。出血はティッシュにつく程度ですが、排便の度に激痛を伴います。さらに悪化すると肛門狭窄をきたして便が出にくくなります。

生活習慣の改善や薬物療法でほとんどの痔核、裂肛は改善します。しかしどうしても薬物療法で改善されない場合は手術適応となり、痛み・再発が少なく、肛門括約筋障害が少ない、早く治る治療が選択されます。痔瘻の治療は基本的に手術が必要で、まれにがん化することがあります。「たかが痔、されど痔」で様々な痔の種類や他の病期が複合されていることが多いので、肛門科専門医にご相談下さい。



炎症性腸疾患 (IBD)

炎症性腸疾患とは、原因不明の消化管の炎症で主に潰瘍性大腸炎とクローン病を指します。潰瘍性大腸炎では直腸から連続性に大腸の口側に進展し、血便・粘液便・下痢などの症状があり、ひどくなると腹痛、発熱などを伴うようになります。クローン病は口から肛門までの全消化管に起こり、下痢・腹痛・発熱・肛門痛などの症状が認められます。どちらも長期間無治療でいると体重減少や発癌などがあり得ます。日本では30年前は珍しい疾患でしたが、最近では潰瘍性大腸炎は20万人、クローン病は7万人程度いると言われ普通にみられる疾患となっています。診断は問診と血液検査、内視鏡を中心とした画像診断で行います。治療法も進歩しており、以前は手術を行っていたものが薬物療法により手術を回避できる患者さまが多くみられます。また、難病に指定されており治療費が高額となった場合は医療費助成制度がありますので気になる症状がある方はぜひ相談してください。





学会・論文発表の報告

2021年1月～5月

開催日	学会名	開催地	発表者	演 題
2021.5.14-16	第101回日本消化器内視鏡学会総会	(広島・Web)	小篠洋之	大腸ステント治療を施行した閉塞性大腸癌症例の臨床病理学的特徴についての検討
発行年月	論文タイトル	雑誌名	巻・号	著者
2021.4	直腸脱に対する腹腔鏡下手術一特に直腸前方固定術(Laparoscopic ventral rectopexy (LVR))に関して	手術	第75巻・第4号	野明 俊裕

外来担当医一覧

2021年7月現在

○午前 □午後 ◎午前・午後

一般外来 (午前)	※午後は、手術・全大腸内視鏡(カメラ)検査、 または当直医による診療 ・便秘外来・便失禁外来・ヘルニア外来 ・ストーマ外来(皮膚排泄ケア認定看護師)	担当医	月	火	水	木	金	土
		野明 俊裕 小篠 洋之 松本 朝子 白水 良征 荒木 靖三	— ○ — ○ ○	○ — ○ ○ —	○ — — ○ ○	○ ○ ○ ○ —	○ ○ ○ — —	○ ○ ○ ○ ○(不定期)
専門外来	・IBD外来(予約制)	光山 慶一(久留米大学) 荒木 靖三	— ○	○ —	— ○	— —	— —	○ ○(不定期)
	・女性外来(予約制)	松本 朝子 的野 敬子 入江 朋子	◎	—	—	□	○	—

月曜 9:00～16:30、木曜13:00～16:30、金曜 9:00～11:30

- 診察医師の希望がある場合、予約をされている患者様が優先となります。(新患・急患・医師指定がない方はこの限りではありません)
- 女性外来の予約はホームページでも可能です

社会医療法人社団高野会 くるめ病院

診療科目 / 肛門科・胃腸科

診療受付時間			受付時間	診療開始時間
	平 日	午前の部 午後の部	午前 8:00 ～ 午前 11:30 午後 1:00 ～ 午後 4:30	午前 8:45～ 午後 2:00～
土曜日		午前中のみ	午前 8:00 ～ 午前 11:30	午前 8:45～



あざれあ便り企画・発行
社会医療法人社団高野会 くるめ病院 患者支援センター
〒839-0865 久留米市新合川二丁目2-18
TEL (0942)43-5757 FAX (0942)43-6959 E-mail: ch-kurume@nifty.com
専門病院としてのさまざまな医療情報を掲載したホームページを開設しています。
<https://upload.ne.jp/kurume/>



Smile (スマイル / 笑顔) Service (サービス / 奉仕の心) Study (スタディ / 自己研鑽) Speciality (スペシャリティ / 専門性) Safety (セーフティ / 安全)